

「アウトドアチャレンジ」にゆめっと京都が協力

(平成23年2月27日)

2月27日(日)に下賀茂神社 糺の森にて、アウトドアチャレンジ京都会場が開催されました。この事業は、文部科学省「青少年元気サポート事業」の一環として、ボーイスカウト日本連盟が中心となり、関係機関と連携して、青少年の自然体験活動の普及を目的に実施されています。

この事業の実行委員会にゆめっと京都も協力させていただきました。当日は「にょいの達人」という、いろいろなものをにおいだけで判断する検定コーナーの運営に仲副代表、澤田が参加しました。また、ゆめ応援隊として、京都府立木津高等学校のボランティア部の生徒6名と久保田教諭にも協力いただきました。

この検定の準備をするにあたり、いくつか「にょい」のあるものを選びましたが、なるべく子どもたちの身近にあるものの「にょい」を感じてほしいと思い、調味料や食品(ソース、しょうゆ、コーヒー、お酢、にんにく、しょうが、わさび、からし、チョコレート、バニラ)を選びました。普段よく目にする調味料や食品でも、にょいを嗅いでみるといろいろな反応があるようで、体験した子どもたちから「お酢のにおいが意外ときつかった。」「わさびとからしの鼻にツーンとくるにょいの区別が難しかった。」というような刺激のあるにょいに関する気づきや「ソースやしょうゆのにおいが嗅いでみると、こんなににおいだったことを知った。」というような身近なものにょいに関する気づき、「しょうがやにんにくのにおいを初めて嗅いだ。」というような初めて嗅ぐにょいに関する気づきなど、いろいろな気づきがあったようです。また、一緒に体験された保護者の方からも、「普段よく使う調味料や食品でも、においだけを頼りに判別すると難しい。」との声もありました。

普段よく目にするものでも改めて「にょい」を嗅いでみるといろいろな気づきがあるものです。今回参加してくれた子どもたちにもそんな気づきを大切にして欲しいと思います。人は情報のほとんどを視覚から得ていると言われますが、この検定では視覚に頼らず嗅覚だけで判断することの難しさを実感してもらえたように思います。嗅覚という本来人間に備わっている感覚の重要さに気づいてもらえたのではないのでしょうか。

この検定を体験した子どもたちの声を聞き、私自身も改めて五感を使って感じることの大切さに気づかされました。今後もこの野外力検定を通じて、子どもたちがいろいろな体験をし、いろいろなことを感じてくれることを期待しています。

ゆめっと京都役員 澤田猛志



平成23年度ゆめっと京都 通常総会のお知らせ

日時：平成23年5月15日(日) 受付：13時40分～ 開会：14時～
懇親会：17時～

会場：コープ・イン・京都 202号室 懇親会もコープ・イン・京都1階レストランにて

住所：〒604-8113 京都市中京区柳馬場蛸薬師上ル井筒屋町411

電話：075-256-6600 URL：<http://hawk2.kyoto-bauc.or.jp/coop-inn/kyoto/index.html>

◎地下鉄烏丸線「四条」駅・阪急電車「烏丸」駅(13番出口から)徒歩5分

◎京阪電車「三条」駅(三条通西へ、京都YMCAを左折)徒歩16分